

カードゲームの種類

カードゲームにはいろんな種類があるよ。

① セットコレクション

セットコレクションは、カードを手に入れたり捨てたりしながら決まった組み合わせをつくることを目指すカードゲームです。トランプのポーカーやババ抜きもこれにあたります。

ある組み合わせがそろった勝ちにしたり、組み合わせ事に点数を決めて勝敗を決めたりといろんなバリエーションを作れます。

カードを引いたり捨てたりしながら
決まった「組み合わせ」をつくるゲーム



② ゴーアウト系

ゴーアウト系ゲームは、条件にあわせてカードを出していき、すべての手札がなくなったら勝ちのゲームです。トランプの大富豪などがこれにあたります。

手にもっているカードをすべて
だしたら勝ちとなるゲーム

③ すごろく系

すごろく系はその名のとおり、すごろくのようなゲームです。さいころをふって進んでいくゲームでシンプルですが、止まったマスにイベント用意したり、追いかけてくる別のキャラクターを用意したりなど、工夫することでいろいろなゲームを作ることができます。

すごろくのようにサイコロをふって
すすんでいくゲーム

④ 記憶系

カードを覚えておくなど記憶力が必要となるゲームです。トランプの神経衰弱などがこれにあたります。

カードを覚えておく記憶力が
必要とされるゲーム

⑤ バースト

バーストゲームは、カードを引いていき、決まったラインをこえるとバーストとなってなんらかのデメリットがあるゲームです。トランプのブラックジャックなどがこのゲームです。

あるラインをこえないようにカードを
ひいていくゲーム

⑥ ブラフ

ブラフゲームは上手にウソをつきながら、ゲームを有利に進めるゲームです。おたがいの手にもったカードがわからないことを利用して自分だけしかわからないゴールをめざしたり、他の人のカードを当てたりします。トランプのダウトがそうです。

自分のカードをすべて捨てられたら勝ちというルールと相性がいいです。

上手にウソをつきながら
目的をめざすゲーム

⑦ バッティング

バッティングゲームは、みんなで一度にカードを出して、同じカードを出した人がいると、カードが無効になるなどのイベントがおこるゲームです。だれかとかぶるとデメリットがあるルールが多く、「このカードを出したいけど同じカードを出した人がいると不利になる」と考えながら楽しむゲームです。

同じカードを出した人がいると
デメリットがあるゲーム